

天童市議会だより

2021
5.1
No.172
TENDO



3月定例会

▲山口児童クラブなでしこは、地域に支えられ、のびのびと遊び学習し、みんなで仲良く生活しています。

- 2 一般質問 13人
- 10 予算特別委員会 令和3年度予算
- 13 提出された議案とその結果
- 15 議会報告・意見交換会開催のお知らせ
- 16 市民の声・6月定例会の日程（予定）



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

www.city.tendo.yamagata.jp





市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、3月2日・3日の2日間の日程で、13人の議員が行いました。

通学路等における除排雪や本市の防災・減災に向けた取組みや課題について、また町内会のあり方について市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項（☆印は会派名）

★てんどう創生の会

熊澤光吏 議員

本市の防災・減災に向けたこれまでの取組みと課題、今後の対応について

笹原隆義 議員

地域おこし協力隊について
介護と福祉について

三宅和広 議員

市民サービス向上のためのLINE公式アカウントの活用について
ごみ減量化について

遠藤喜昭 議員

村山東部広域農道とその周辺を活かす環境整備について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

新型コロナウイルス感染症のPCR検査対象者の拡充について

伊藤和子 議員

コロナ禍の中、生活を保障する施策の充実を
男女共同参画社会の実現のために

★市民と歩む会

狩野佳和 議員

地籍調査について
除雪、排雪について

★清新会

武田正二 議員

除排雪について
基金の現状と新設について

山口桂子 議員

高齢者と女性の健康支援の充実について

環境衛生からみた感染症予防対策について

水戸 保 議員

令和3年度施政方針について

鈴木照一 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

子どもたちの健やかな成長のために

（株）スポーツクラブ天童について

★無会派

野口さつき 議員

不育症の支援について

松田光也 議員

これからの町内会のあり方について

3

月

定

例

会

令和2年度第9回市議会定例会（3月定例会）は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、専決処分3件を報告・承認しました。また、令和2年度各会計補正予算議案7件を原案のとおり可決しました。そのほか、令和3年度各会計予算や条例議案等24件が上程され、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、右記日程で審査を行い、最終日の本会議で採決が行われました。

定例会最終日には、補正予算議案1件及び条例議案1件が上程され採決が行われました。また、人事案件1件について同意しました。（採決結果は13ページに掲載してあります。）

審 査 日 程

月 日	内 容
2/26(金)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
3/2(火) 3/3(水)	本会議（市政に対する一般質問）
3/4(木)	総務教育常任委員会（付託案件の審査）
3/5(金)	環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
3/8(月)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
3/9(火) ～12(金)	予算特別委員会（付託案件の審査）
3/15(月)	予算特別委員会（討論、表決）
3/18(木)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）



火災予防における 本市の取組みについて

熊澤 光吏 議員

子どもたちに対する火災予防の取組みと令和3年度の各訓練等の開催は。

松田消防長 令和3年度に

小学生を対象に、住宅防火における防火用品、住宅用警報器、消火器等を質問形式で学べるパンフレット等の配布を行い、火災予防に

おける広報に努めたいと考えている。なお、子ども目線で

家庭の防火について調べられる防災教材として活用し

てもらおうとともに住宅用警報器や消火器の設置につながるよう取り組む。また、

令和3年度の各訓練等の開催については、新型コロナウイルス

王将 金将 銀将 金 桂馬 金 香車 金 飛車 龍王 角行 馬 歩兵 と 王将 金将 銀将 金 桂馬 金 香車 金 飛車 龍王 角行 馬 歩兵 と



地域おこし協力隊受け入れの 課題と今後の方針は

笹原 隆義 議員

本市に4名の隊員が活動しているが、関係部署や地域との協力体制の状況は。

また、コロナ禍で首都圏からの移住が増えており、本市の発展に寄与したいと考えている県外出身者を隊員としてさらに受け入れていく考えは。

地域おこし協力隊の経験者やNPO主催者など市の

発展に大きく寄与できる人材を「地域プロジェクトマネージャー制度」として、

国は活用を促しているが、本市の考えは。

山本市長 隊員が活動しやすい環境づくりを行って

お



▲令和2年度の地域おこし協力隊員

り、隊員の才能や能力を生かした活動ができるよう関係団体と連携しながら体制を整える。また、課題を整理して地域おこし協力隊の効果的な活用が期待できる部署等を調査しながら今後

学校防災の 水準について

市内各学校は国の定める

防災水準を達成しているのか。

相澤教育長 本市として

は、国の水準を達成するた

めに、随時、防災対策の見直しを図りながら対応を進めている。

その水準の中で、水防法及び土砂災害防止対策の推進に関する法律等の改正に

より、学校防災における避難確保計画の策定が必要である。特に、本市の浸水想定区域に立地する小学校7

校（天童中部、天童北部、成生、蔵増、寺津、干布、津山※）については、避難

確保計画の作成に取り組ん

の受け入れや活動方法についてさらに検討していく。

佐藤総務部長 「地域プロ

ジェクトマネージャー制度」については、既存の隊

員にしっかりと取り組んでもらいながら、国の制度を見極め検討していく。

福祉と介護の相談 体制を強化すべき

障がい者福祉においても、介護の地域包括支援センターのような相談の核と

でいる。その他の課題についても3月末までに水準を達成できる見通しである。※津山小は土砂警戒区域にも該当。



なる拠点を整備すべき。それが福祉のさらなる充実にもつながら、福祉の拠点整備の方向性はどのようになっているのか。

桃園健康福祉部長 現在、

第6期天童市障害福祉計画を策定している。国は令和

5年度末までに相談支援の強化を図るよう指針を定め

ており、本市は基幹相談支援センターの設置について、必要性も含め検討していく。



LINE公式アカウントを使い 市民サービスの向上を

三宅和広 議員

LINEのユーザー数は、令和2年3月末現在で、人口の66%に当たる8400万人であり、国内で最も利用されているSNS（ソーシャルネットワーク・サービス）である。

また、LINE公式アカウントでは、メッセージを

送ると受信者側の画面にメッセージが届いたことを知らせる機能があり、情報伝達力に優れている。

LINE公式アカウントを積極的に活用した行政サービスの提供が必要であると考えるが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 本市においてもLINE公式アカウントをすでに取得している。当面は、新型コロナウイルスワクチン接種の予約申込みに利用していきたいと考えている。

その他の業務でのLINEの活用については、ワクチン接種における利用状況を見極めながら、行政サービスの情報発信の手段として活用することを調査、検討していきたい。



日本では、
毎日1人につき、
おにぎり1個分、
合わせて
1億個分以上的な食べ物が
捨てられています。

食品ロス削減のための 取組みは

食品ロスの問題が大きな社会問題となっている。本市においては、今後、どのように取り組んでいく考えか伺いたい。

山本市長 30・10運動の取組みを市報等に掲載するほか、啓発用コースターを活用している飲食店等と連携し、啓発活動やフッキング教室の開催などを進める。

また、スマートフォンアプリを導入し、ごみの収集日や各種情報を発信する。ごみを減らすためには一人ひとりの意識向上が大切である。市民、事業者、行政が一体となり、取組みを推進していきたい。



村山東部広域農道（通称スーパー農道）沿線地域発展へ

遠藤喜昭 議員

平成30年に「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に登録された。村山東部広域農道に「紅花」がついた愛称をつけてはどうかとの意見が出され、本市と山形市沿線地域合同で協議会が設立されて、間もなく愛称が決定とのこと。このたび、

農水省発表の「最上川流域の紅花生産・加工」世界農業遺産登録の話題もあり、これまで以上の誘客が期待できる。ロードマップに愛称を加えることで観光や産業に大きな可能性がある。愛称を活用した東部地域活性化に向けた取組みを伺う。

山本市長 愛称設定の対象となる村山東部広域農道を含む路線は、川原子、原崎地域から山形市東沢地区までの全長25・7km。沿線には北から水晶山、若松寺、紅花畑、芭蕉の句碑、立谷川の芝桜などがあり、天童ラ・フランスマラソン大会のコースとしても活用している。

愛称を多くの方に知ってもらうため、看板設置や観光パンフレットへの掲載な

どで周知を図っていく。さらに、沿線に点在する観光資源を面としてつないでPRし、県や近隣市町と連携を図りながら観光誘客に努めていく。

沿線景観を守るための 農業団地の整備を

特に、山寺から千布にか

けて月山・朝日連峰の山並みと果樹地帯の景観を守っていくために、遊休農地解消を進め計画的に農業団地

の整備をすべきでは。

堀越農業委員会会長 紅花が世界農業遺産に登録申請されているので、率先して遊休農地を解消していく必要がある。団地化については、農業者や関係機関と地域を超えた広域的な話し合いを基に将来を見据えた計画が必要と考える。



新型コロナウイルス感染症の
PCR検査対象者の拡充を

石垣昭一 議員

PCR検査は、濃厚接触者に限らず、特に病院や高齢者施設など感染リスクが高い施設の利用者や従事者について、集団的に検査する体制が必要だと思いが市長の考えを伺いたい。

山本市長 医療、福祉施設
においては、新型コロナウ

イルス感染症にに対し、感染予防、感染拡大防止対策を徹底しながら、医療、福祉サービスの提供を継続されていることに感謝する。また、利用者や家族の協力もあり、市内の医療機関、福祉施設において感染者は発生していない。

PCR検査は、保健所により濃厚接触者とされた方や、医師からPCR検査が必要と判断された方について速やかに検査でできる体制が確保されている。

さらに、低価格で検査できる県PCR自主検査センターが県立河北病院に設置される。

いことなどから、市内で実施している施設はないと認識している。

感染防止のためには、これまでの感染防止策を徹底し、継続していくことが肝要と考えている。

高齢者施設職員の
検査費用に支援を

各地で高齢者施設等でのクラスターが多発する中、高齢者、障がい者、保育施設職員のPCR検査にかか

る費用の2分の1を助成している自治体もある。

本市でも施設運営を維持継続させるために、施設で自主的にPCR検査を受けさせているところもある。

費用負担に対する支援をすべきと考えるが、市長の考えを伺う。

山本市長 現時点で、高齢者施設等が行う定期的なPCR検査に対し、費用を助成することは考えていない。



コロナ禍の中
自立支援センターの充実を

伊藤和子
議員

新型コロナウィルスの影響で、自立支援相談が急増していると聞く。本市の相談状況とその対応は。

この相談事業を社会福祉協議会に委託している。生活自立支援センターの相談体制や相談員の労働実態をどう把握しているか。

山本市長 生活自立支援セ

ンターの令和2年12月末の相談実人数は370人。申請件数は緊急小口資金165件、生活総合支援資金53件、住居確保給付金31件となっている。

現在7人の4班体制で、1日16件程度の相談に当

たっている。相談時間確保のため、あえて予約制にしている。相談件数が増えて大変な状況にあると認識している。

国は、自立相談支援機関の支援員の加配等の補正予算を組んでおり、自立支援センターとも協議し、体制強化に努めたい。

生活保護の 扶養照会緩和は

生活保護の相談、申請、

受給状況は。保護系の体制は十分か。国は扶養照会の運用を緩和するというが、市の対応は。

山市長 生活保護の相談は127件あり、新規に53件の申請があり、44件が受給された。令和3年1月末現在、309世帯、364人が受給している。

保護担当は査察指導員1人とケースワーカー3人で対応している。体制についてはここ数年変わっていない

い。
受給件数が増える中、保護の認定で終わりでなく、その後の生活支援やさまざまな観察もあり、現状のマンパワーでは厳しい状況だ。扶養義務調査については法に基づき実施している。扶養義務調査を理由に申請を諦めることがないよう、丁寧の説明していく。



農地の売買賃借推進のため に地籍調査を進めるべき

狩野 佳和 議員

地籍調査の進捗率は全

国、県と比べてどうか。年

度ごとの目標の設定は。
農業の後継者が減り、農
地の売買、賃借も増加のよ
うだが、境界が不明で契約
の破談もある。調査には立
会証言が必要だが、双方で
境界が分かるときに調査す

べきと考えるが。

山本市長 市では地籍調査

を平成26年度から開始し10
カ年ごとの計画を進めてお
り、市の進捗率は12割、全
国は52割、県は49割であ
る。進捗率が低いのは、開
始が遅くなったこと、双方
の合意が必要な境界確認で



除排雪をしっかりと

武田 正二 議員

ラニーニャ現象も影響
し、12月から大雪となり、
除排雪が追いつかず、2月
中ごろでも沿道には雪がう
ず高く積まれている状況で
あった。そんな中、弱者と
なる児童・生徒の通学路の
安全確保についてはどう
だったのか。また、狭隘な

道路は1台の車でさえ通行
困難な状況となってしまう
ところが多かった。これ
まで幅出しの取組みを行っ
てきたが、この冬の対応は
どうだったのか伺う。
山本市長 今シーズンも、
本市の道路除雪計画に基づ
き道路パトロールを実施し

時間を要し、国と県の財源
確保が必要なのが要因で
ある。

完了するには長年の年月
を要するが、今後は国、県、
市関係部署と連携し、事業
の促進を図っていきたい。

GPSを活用し交差点 の除雪、排雪をすべき

除雪車に搭載のGPSの
性能、信頼度、効果は。

豪雪時、また日中に緩ん
だ雪の除雪時、小学校付近



▲通学路に高く積まれた雪

ながら、市内各所で幅出し
や排雪作業を行った。今後
も市民生活を守るため、適
切な除雪に努めていく。
伊藤建設部長 今シーズン

の経験を踏まえ、どんな除
雪体制で何が有効なのか、

の交差点に掃き寄せた雪は
すぐ排雪し、子どもたちが
安全に登下校できるように
すべきでないか。

GPSで除雪稼働は把握
できるので、朝一番は無理
でも日中の緩んだ除雪時は
可能と思うが。

山本市長 除雪車の作業軌
道はパソコンで確認でき、
報告書は自動作成のため、
除雪業者の事務の効率化が
図られ、負担軽減になる。
交差点の排雪に対応する

改めて受託業者と協議を進
めていく。除雪機械、オペ
レーターの確保などの課題
も想定されるが、県内の自
治体の対応を参考にし、よ
りよい除雪作業となるよう
努めていく。

再度要望 除雪基金の設置を

数年ごとにかかる豪雪で
は、たびたび補正予算を組
んで対応している。たびた
び起こる豪雪に対応するた

には機械、オペレーターの
確保等、体制の見直しが課
題で、適宜、除雪計画を見
直し適切な除雪に努める。
子どもたちの通学路につ

いては来年対応できるよう
努力する。



▲交差点に掃き寄せられた雪で埋もれてしまった横断旗

め、除排雪費の資金を回
転運用できる基金を設置す
ことで、除排雪費の平準化
が図られ、毎年の予算編成
に影響を及ぼすことがな
く、市としての対応がな
ると思うが、市の考えを
伺う。

山本市長 財政調整基金は
災害対応としての性格も有
することから、一般の豪雪
等に当該基金を活用し、機
動的に対応していくことが
最も効果的であると考えて
いる。



学校や公共施設の水道蛇口 改修で感染予防対策を

山口 桂子 議員

市内小中学校や公共施設の水道の蛇口は、回転式になっていることが多い。こ

生対策について、現状と今後の取組みを伺いたい。

これからの感染予防対策として、レバー式に改修したほうがよいと思うが、今後改修する計画はあるか。

また、換気や二酸化炭素濃度、室温・湿度の環境衛

生対策について、現状と今後の取組みを伺いたい。
山本市長 学校トイレの改修工事に併せ、手洗い場の蛇口を非接触式にする計画である。学校の水飲み場及び公共施設では、水道の使い方に合わせて改修する必要がある、今後、不特定多



令和3年度施政方針について

水戸 保 議員

令和3年度施政方針では「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組むとともに本市の重点施策である子育て支援をさらに充実し、日本一の子育てしやすいまちを目指す。また、にぎわいと活力の増進を図る」と述べている。

市長はこれまで常々、何事にもスピード感を持って対応していくと言っていたが、どうも最近スピード感が遅くなってきた感がある。また、「市民目線に立つた行政サービス向上とさらなる高みを目指した挑戦を続けていく」とあるが、こ

数の方が使用する箇所を優先して、順次改修を進める。

市内小中学校では、教育委員会が作成した新型コロナウイルス感染症対応マニュアルに沿って、小まめに換気を行うことで、二酸化炭素濃度や室温・湿度の環境衛生対策につながっている。全ての公共施設で換気の取り決めを行い、小まめに換気をしていく。

フレイルやサルコペニア 予防対策の推進を

健康寿命を延伸させ、フレイルやサルコペニアの予防のため、食事、栄養、運動、社会参加の重要性を周知、実践してもらうためにどのように進めていくのか。

栄養の整った食生活のために「お食事手帳」を活用してはどうか。

山本市長 低栄養による運動機能低下を防止するため

れを成就するには縦割り行政でなくワンチームで結束すべきである。

地方公務員法第30条「全て職員は全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、かつ職務遂行に当たっては全力を挙げてこれに専念しなければならない」。

そして、憲法第15条においても、「全て公務員は全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」とあるので、みんなで力を合わせ、

考えは。

山本市長 職員の意識改革

は非常に重要な課題であり、就任当時から取り組んできた。しかしながら、なかなか思うように進んでいないのも事実であり、今後とも粘り強く努力していきたい。組織のあり方も、報

告等の連絡体制や責任の所在を明確にしていく必要があると感じている。

また、課題や考え方を整理しながら、職員と話し合い、職員の意識向上と活力ある職場の

雰囲気づくりにさらなる努力をしていきたい。





(株)スポーツクラブ天童と 天童ターミナルビルについて

鈴木 照一 議員

スポーツクラブ天童の経営健全化に向け、ビーフリーの抜本的な改革が求められている。今後のビーフリーのあり様について伺う。

また、ビーフリーの運営を見直すことで、天童ターミナルビルの利用も見直しが必要となる。天童駅前の

にぎわい創出や活性化に資する利活用について伺う。

山本市長 ビーフリーの運営はビル管理費などの固定経費により厳しい状況が続いている。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現在の事業を継続することが困難な状況の

ため、令和3年度は市が経済的な支援をした上で、現状のまま事業を継続したい。令和4年度以降の事業については、令和3年9月末までにビーフリーの抜本的な改革案を議会へ示し、会社が持続可能な経営を行えるよう取り組んでいく。

事業の見直しでスペースが生じた場合、駅前のにぎわい創出を念頭に置き、市の活性化につながるよう活用方法を検討していく。

給食センターの 米飯施設整備について

本市は山形市が示した米飯施設の広域運営に不参加を表明し、学校給食用米飯を独自に調達する方針を決定した。「から弁」の解消やアレルギー対策の充実等の課題解決に向けた今後の整備計画について伺う。

ため不参加と決定した。令和4年度からの米飯の提供は民間事業者へ委託し、将来的な提供のあり方は引き続き検討していく。

食物アレルギーを持つ児童生徒の安全安心のために、早急にアレルギー調理室の増築を進めていく必要があると考えている。

相澤教育長 このたびの山形市の提案は、比較検討した結果、デメリットが多い

「から弁」の解消は、米飯用の食器購入や食器洗浄機の更新などが必要となり、引き続き検討していく。



不育症の治療に 費用等の支援を

野口 さつき 議員

不育症とは、2回以上の流産、死産や早期新生児死亡を繰り返すことと定義され、2回以上の流産既往歴を持つ方が年間約3万1000人発症している。研究が進み、検査と適切な治療で、約8割の方が出産できるとされる。しかし、検査

や治療の多くが保険適用外で、経済的負担が大きい。負担を軽減するため、費用の助成制度が必要では。特に、ヘパリン療法法の自己負担分の治療費を助成してはどうか。

山本市長 令和3年度から、保険適用外検査に対す

る国と県の助成事業が創設される。その動向を注視して検討したい。

桃園健康福祉部長 新たな

国と県の検査費用に対する助成事業は、1回5万円を上限に助成する。対象は、研究段階にある保険外併用で実施する検査に対し、自治体が助成を行う場合、国と県が補助を行うとされる。治療費用の助成は、周辺自治体の取組みを参考に検討していきたい。

相談窓口の設置と 市民への周知

不育症の認知度は低く、不育症と診断された夫婦の多くが強いストレスを抱えている。気軽に相談できる窓口の設置と、社会的な理解の促進を図るため、市民への周知が必要では。

山本市長 県内の不育症相談窓口は、山大医学部附属病院と4力所の保健所である。不育症で精神的に強い

ストレスを抱えている場合、市健康課や保健所に気軽に相談いただきたい。また、市のホームページ等で市民に不育症に関する情報を提供し、周知に努める。

子育て支援日本一を目指して、まずは安心して子どもが産み育てられる環境づくりが重要だ。妊娠しても出産に至らない方の精神的あるいは肉体的、経済的な不安が大きいと理解し、調査研究していきたい。

議会のうごき

(2月1日～3月31日)

■2月

- 2日 市長要請環境福祉常任委員会(天童市高齢者福祉計画・第8期天童市介護保険事業計画(案)について、認定こども園運営事業者(公私連携法人)候補者の決定について)
- 3日 市長要請総務教育常任委員会(第四次男女共同参画推進計画(素案)について)
- 4日 市長要請経済建設常任委員会(現在の除雪の状況について)
- 9日 総務教育常任委員会協議会
環境福祉常任委員会協議会
経済建設常任委員会協議会
- 10日 市長要請全員協議会
- 12日 市長要請環境福祉常任委員会(天童市民病院の経営状況について)
新型コロナウイルス支援本部役員会
- 15日 市長要請経済建設常任委員会((仮称)天童南スマートインターチェンジ整備事業について、現在の除雪の状況について)
東根市外二市一町共立衛生処理組合議会・議会運営委員会
- 16日 市長要請全員協議会
議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 18日 議会運営委員会
- 25日 市長要請環境福祉常任委員会(高齢者移動サービス事業における不適切な取扱いを行った事業者に対する処分について)
東根市外二市一町共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 26日 広報委員会
- 26日～3月18日 第9回市議会定例会

■3月

- 5日 市長要請環境福祉常任委員会(国民健康保険における傷病手当金について)
市長要請各派代表者会(人権擁護委員の推薦について)
- 8日 市長要請経済建設常任委員会(山口西工業団地整備事業に係る経営戦略の策定について)
- 12日 市長要請経済建設常任委員会(国の令和2年度第3次補正予算に係る道路事業について、強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援型)について)
新型コロナウイルス支援本部役員会
- 15日 市長要請全員協議会
市長要請総務教育常任委員会(小学校トイレ改修について)
議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 広報委員会
- 19日 環境福祉常任委員会所管事務調査(天童市高齢者移動サービス事業における不適切な取扱いを行った事業者に対する処分について)
災害時等における電動車両の貸与に関する協力協定締結式(議長、副議長、各常任委員長)
- 23日 総務教育常任委員会所管事務調査(市立山口公民館)
市長要請環境福祉常任委員会(高齢者移動サービス事業の要綱等について)
議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 30日 市長要請全員協議会
議会運営委員会

王将
金将
銀将
金
桂馬
金
香車
金
飛車
龍王
角行
馬
歩兵
と
王将
金将
銀将
金
桂馬
金
香車
金
飛車
龍王
角行
馬
歩兵
と
王将
金将
銀将
金
桂馬
金
香車
金
飛車
龍王
角行
馬
歩兵
と

少子高齢化が進む中、3世代が多かった時代と比べ今は世帯の人数も少なく地域での活動の負担が多くなっている。地域におけるコミュニティ機能が低下し住民連帯感の希薄化が感じられるが、本市は現状をどのように捉えているのか。

町内会が取り組む課題について、行政組織も連携して相互協力体制を強化し、きめ細かく支援することが重要と考える。若い世代も男女問わず地域で活動できる取組と、負担軽減が必要であると思う。また、公民館分館の備品購入や改築

工事において、世帯数の少ない地域の町内会負担が多く、本市からの一律補助率は不公平感を感じる。地域の事情に合わせた制度の見直しをすべきと思うが、本市の考えを伺う。

山本市長 自治組織は、地区内の住民同士が協力し合って、住みよい地域社会をつくるために自主的に組織された団体であると考えている。本市でも、世帯分離による世帯員数の減少が

進み、現在では1世帯当たり2・74人となっている。さらに、共働き率の上昇など、生活様式の多様化により、自治組織自体の活力も減退していると危惧している。市民と行政との協働のまちづくりの観点から、地域防災や地域福祉等の多岐にわたり、自治組織からの協力を得る必要がある。市では、自治組織の自主性を最大限尊重した上で、活性化に向けきめ細かい支援を



これからの町内会に本市はどうかわりを考えているのか
 松田 光也 議員

進み、現在では1世帯当たり2・74人となっている。さらに、共働き率の上昇など、生活様式の多様化により、自治組織自体の活力も減退している。市民と行政との協働のまちづくりの観点から、地域防災や地域福祉等の多岐にわたり、自治組織からの協力を得る必要がある。市では、自治組織の自主性を最大限尊重した上で、活性化に向けきめ細かい支援を

したい。また、地域に負担をかけないための仕組みづくりについては、今後、さまざまな点から調査研究をしていきたい。

公民館分館の整備補助金については、世帯数が少ない地域では地元の負担も多くなることが想像されるが、長期的な資金計画の下、本市の助成制度を活用していただきたいと考えている。

261億3000万円を可決

小中学校入学応援金 「エール天(10)支給事業」など



令和3年度当初予算は、予算特別委員会に付託・審査後、本会議において原案のとおり可決しました。審査の主なものは次のとおりです。

支援員の人数増で児童生徒にきめ細かい支援を

委員 すこやかスクール支援員増員の内容は、

学校教育課長 今年度は、これまで支援員を配置していなかった寺津小、干布小へ新たに各1名配置し、児童数が増加している高嶺小は1名増員する。これにより、市内全小中学校に、規模に応じて1〜3名の支援員が配置され、20名体制となる。

ICT推進員の派遣を拡大

委員 ICT活用支援業務委託料1064万8000円の詳細は、

学校教育課長 各学校でICTを活用した学習をス

ムーズに進めるためにICT支援員の派遣時数を拡大する。前年度は936時間だが、今年度は2420時間にする。具体的には大規模校で1週間に6時間を30回、小規模校で1週間に4時間を30回、先行実施している寺津小で1週間に4時間を20回となる。

エール天(10)ってなあに?

委員 小中学校入学応援金「エール天(10)支給事業」の内容と支給手続き、支給時期は、

子育て支援課長 子育て家庭の経済的負担軽減と少子化対策推進のため、5月1日の基準日に本市に住所がある小・中学校の新1年生の保護者に、児童生徒1人当たり10万円の入学応援金を支給する。

5月上旬に市から申請書を郵送し、5月末まで申請すると7月上旬に振り込まれる。小学生550人、中学生600人が対象。事業

費はシステム改修費も含め約1億2000万円。

市立保育園にICT支援システム

委員 市立保育園等にICT支援システムを導入する目的は、

子育て支援課長 災害時等の保護者との緊急連絡体制を整備するとともに、保育士の事務負担軽減を図るため、ICT支援システムを導入する。

緊急連絡のほか、欠席・遅刻連絡、お便り・行事予定の配信、登降園管理も可能になる。

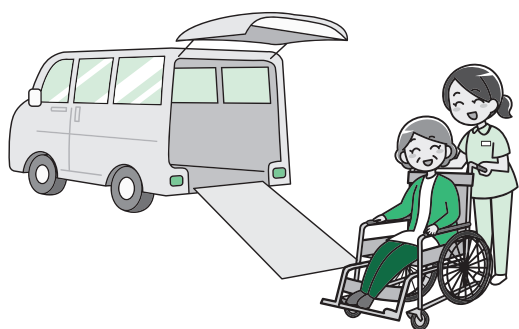
市立保育園4園で95万8000円。児童館1館で22万6000円。

高齢者移動サービスの変更点は

委員 高齢者移動サービスが変更されるが改善点は、

保険給付課長 要介護3〜5認定の自立歩行が困難な高齢者が対象。要介護1〜2でも座位保持が困難な場

合は対象となる。介護車両が多様化しているに伴い、軽自動車の車両についても助成対象とし、利便性向上のためこれまでの3000円券から10000円の助成券に細分化する。1回当たりの利用の上限は6000円とし、年間74枚を交付する。田麦野地区は84枚交付。これまで在宅のみだったが介護施設から医療機関等への臨時的な利用も可能となる。事業費は877万円。



通年型PR動画制作事業

委員 通年型PR動画制作業務委託料662万9000円の内容は。

商工観光課長 旅行先の選択手段として、動画による選択が主流となっている。

年間を通した観光情報やイベント情報を網羅した通年型のPR動画を制作し、インターネットや道の駅天童温泉で放映することで、市外への情報発信の強化と観光客の回遊性の向上を図る。

他自治体との差別化や本市の認知度が低い若年層にアプローチを図るため、ナレーターにアニメ「3月のライオン」川本ひなた役の人気声優の花澤香菜さんを起用する。



▲「3月のライオン」川本ひなた
©羽海野チカ／白泉社

つつじ公園内の駆除木を撤去

委員 伐倒駆除木処分業務委託料300万円の内容は、単年度の事業か。

農林課長 森林病害虫の駆除木については、所有者が管理するのが原則であるが、経年劣化等による物的・人的被害の危険性が高い観光地や住宅地周辺に静置している駆除木の撤去を行う。令和3年度は、舞鶴山つつじ公園内の150立方メートルの処分を予定している。その後は若松集落付近を計画している。

ふるさと納税25億円を見込む

委員 ふるさと納税の見込みと取組みは。

ふるさと納税推進室長 ふるさとチョイスに加え、10月に楽天ふるさと納税のポータルサイトを開設した。10月からつや姫の新しい返礼品を導入したところ、集こもりの需要の影響

もあり申込みが増えている。全体のリピート率も増えており、令和3年度は25億円の寄附を見込んでいる。

結婚新生活の支援

委員 結婚新生活支援事業の1200万円の内容は。

地方創生推進監 新婚世帯が新生活を行う住宅賃借費用及び引越し費用に上限60万円として補助を行うもの。周知に関しては市報や、窓口でチラシの配布を考えている。ほかに有効な広報も今後考えていく。

新たな市街地候補を選定

委員 新市街地適地選定業務委託料1815万2000円の内容は。

都市計画課長 新市街地として整備を進めてきた芳賀土地区画整理事業が令和3年度で完了する。また、市街地での未利用地はほとんどない状況にある。定住者・移住者の受け皿となる住宅地を整備し供給するた

令和3年度予算のあらまし

主な新規事業

小中学校入学応援金「エール天(10)」支給事業	1億1971万円
子育てシティプロモーション事業	388万円
山口児童館認定こども園移行事業	1億1578万円
重粒子線がん治療患者支援事業	126万円
経営継承・発展等支援事業	200万円
スマートインターチェンジ整備事業	2970万円
排水ポンプ車整備事業	1160万円
窓口キャッシュレス決済導入事業	68万円
スポーツセンター施設改修事業	2億2003万円
明治大学連携事業(リバティアカデミー)	265万円

会計区分	今年度当初予算(万円)	前年度当初予算(万円)	伸び率(%)
一般会計	261億3000	262億8000	△0.6
特別会計	132億5728	135億957	△1.9
国民健康保険	60億3780	61億6850	△2.1
用地買収	249	280	△11.3
財産区	103	150	△31.2
介護保険	61億4773	59億7292	2.9
市民墓地	783	389	101.1
後期高齢者医療	7億7609	7億4912	3.6
工業団地整備事業	2億8431	6億1084	△53.5
企業会計	71億7589	74億644	△3.1
水道事業	22億2180	21億8904	1.5
天童市民病院事業	18億2401	20億4822	△10.9
公共下水道事業	31億3009	31億6918	△1.2
合計	465億6317	471億9601	△1.3

め、新市街地としての適地を選定するものである。

具体的には、複数の候補地を抽出した上で、それらについて各種法規制との関係や交通の便、公共施設等の有無など多様な視点から評価し、適地を選定する。

空き家利活用支援事業等を充実

委員 空き家対策事業、定住促進事業を大きく見直しているが、その理由は、

建設課長 空き家利活用支援事業、定住促進・子育て世帯支援事業、空き家除却事業、住宅リフォーム総合支援事業の4つの事業内容を活用しやすいように見直した。

詳細については、市報、ホームページ等で周知していく。また、子育て支援課で実施する「子育てシティプロモーション事業」とも連携し周知していく。

ドライブレコーダーを活用した防犯対策

委員 ドライブレコーダーをどのように活用していくのか。

生活環境課長 天童警察署と連携しながら、ドライブレコーダーを搭載した自動車に所有する市民や企業に協力を呼びかけ、市に登録してもらおう。事件・事故が発生した場合には、一斉メールで天童警察署への画像提供の協力を求めるものである。

スポーツセンターの施設改修計画

委員 スポーツセンター改修事業の内容は。また、改修により使用できなくなる期間は。

文化スポーツ課長 メインアリーナの吊り天井改修と照明器具及び音響設備の改修工事である。なお、改修により使用できなくなる期間は令和3年9月から令和4年3月までの約半年間を想定している。

令和2年度一般会計補正予算

いよいよ新型コロナウイルスワクチン接種始まる

2月26日、3月18日の本会議に一般会計及び特別会計を含む7会計の補正予算が上程され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

●一般会計補正予算（第11号）

- ・新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の増額 1億9247万円

●一般会計補正予算（第12号及び第13号）

- ・除排雪業務委託料の増額 2億円

●一般会計補正予算（第14号）

- ・ふるさと応援寄附金の増額に対応した返礼品等に要する経費の増額 1億58万円
- ・障がい者の自立支援のための障がい者福祉扶助費の増額 3914万円
- ・雇用調整助成金申請代行補助金の増額 1400万円

●一般会計補正予算（第15号）

- ・市民を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種に係る諸費用を増額 2億8394万円
- ・市道東ノ崎線及び山元道満線の用地測量等に係る工事関連委託料の増額 2億228万円
- ・市道寺津新田線及び矢野目久野本線道路改修工事費の増額 2億228万円
- ・市道天童東根線道路改良工事に係る工事費の増額 2億617万円
- ・小学校のトイレ改修工事費及び監理に係る工事関連委託料の計上 2億617万円

提出された議案とその結果

令和2年度第9回市議会定例会に提出された議案とその結果は、次のとおりです。

第9回定例会(2月26日～3月18日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第10号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
報第11号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
報第12号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第13号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
議第103号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第14号)	原案可決 (全会一致)
議第104号	令和2年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	原案可決 (全会一致)
議第105号	令和2年度天童市介護保険特別会計補正予算(第6号)	原案可決 (全会一致)
議第106号	令和2年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)
議第107号	令和2年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議第108号	令和2年度天童市民病院事業会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)
議第109号	令和2年度天童市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第110号	令和3年度天童市一般会計予算	原案可決 (全会一致)
議第111号	令和3年度天童市国民健康保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第112号	令和3年度天童市用地買収特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第113号	令和3年度天童市財産区特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第114号	令和3年度天童市介護保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第115号	令和3年度天童市市民墓地特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第116号	令和3年度天童市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第117号	令和3年度天童市工業団地整備事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議第118号	令和3年度天童市水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議第119号	令和3年度天童市民病院事業会計予算	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第120号	令和3年度天童市公共下水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議第121号	天童市手数料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第122号	天童市介護保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第123号	天童市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第124号	天童市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第125号	天童市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第126号	天童市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第127号	天童市道路占用料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第128号	天童市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第129号	天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第130号	天童市地域交流・活性化センターの設置及び管理に関する条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第131号	山口西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第132号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第133号	河北町道路線の廃止の承諾について	原案可決 (全会一致)
議第134号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第15号)	原案可決 (全会一致)
議第135号	天童市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第136号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし (全会一致)

教えて
ケロっす



インターネットで議会中継 スマホやタブレットでも

本会議は、インターネットでライブ配信しております。また、過去の本会議の映像もご覧いただけます。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでも視聴できますので、下記の天童市ホームページをぜひご利用ください。

<https://www.city.tendo.yamagata.jp/congress/chuukei/chuukei.html>

人権擁護委員の 推薦に同意

現人権擁護委員が、令和3年6月30日をもって任期満了になることに伴い、その後任として加藤昭男氏(駅西)を推薦することに異議なく同意しました。

東根市外二市一町 共立衛生処理組合議会

2月25日、東根市外二市一町共立衛生処理組合議会が開催され、令和3年度予算などの審議が行われ、採決の結果、異議なく原案のとおり可決されました。

令和3年度構成市町ごとの負担金は下表のとおりです。

令和3年度 組合予算 31億1323万5000円

令和3年度各市町負担金(概算額) (単位:千円)

市町名	項 目		比 較	
	R3年度 (概算)	R2年度 (概算)	差額	増減率
天童市	400,985	364,873	36,112	9.90%
東根市	330,571	304,832	25,739	8.44%
村山市	164,927	149,484	15,443	10.33%
河北町	143,050	128,503	14,547	11.32%
合 計	1,039,533	947,692	91,841	9.69%

委員会活動 総務教育常任委員会

3月29日、新たに完成した山口地域交流・活性化センターの現地視察を行いました。

昭和52年から山口地域の方々に親しまれ、地域活動の拠点だった市立山口公民館が、新たに山口地域交流・活性化センターとしての機能を持ち合わせてこのたび完成しました。本市と仙台市を結ぶ玄関口に、地域内外の幅広い世代が交流し、地域が活性化することを目的として建設されました。

太陽光発電と蓄電設備が設置され、非常時の防災施設としても期待されています。

施設の隅々まで地域の皆さまの思いが詰まった新山口公民館。須藤公民館長を先頭に、「1人の100歩より、100人の1歩を尊重した地域づくり」を目指します。「集う」「学ぶ」「つなぐ」コミュニケーションの場として親しまれ、地域のにぎわいづくりの拠点として活用されることを切に願います。



▲大きな窓と高い天井で開放感があり明るい館内

新型コロナウイルス感染症に関する提言（4回目）

これまで天童市議会では、地域から寄せられた声を集約し、市対策本部に提言書として提出してきました。2月19日には、4回目となる提言書を市対策本部に提出しました。

感染症防止対策について

- (1) 感染が確認された施設の消毒等に要する経費。
- (2) 高齢者施設職員の定期的なPCR検査費用。
- (3) 感染者の濃厚接触者が直ちに検査できる抗原検査キットの準備。

経済・雇用対策について

- 実施** (1) 雇用調整助成金申請代行補助金申請期限の延長。
- 実施** (2) 観光業（飲食業）等緊急経営支援給付金（宿泊、旅行、貸切バス、タクシー、土産店）、及び天童温泉等緊急経営支援給付金の追加支援。
- 実施** (3) 天童市飲食業等緊急支援給付金の卸売業等への拡充（食材、酒類、飲料水、ホテル関連業者等）。
- (4) プレミアム付商品券の再発行や二次元コード決済等を利用した新たな消費喚起事業の検討。
- (5) プレミアム付商品券の換金業務の見直し。
- (6) 休業支援金が受け取れない市民への支援。

その他の支援策等について

- 実施** (1) ワクチン接種の体制構築と市民への情報開示。
- 実施** (2) ワクチン接種が予定されている施設に行けない市民への支援。
- (3) 誹謗中傷等に関する相談窓口の設置及び弁護士への相談料等の支援。
- 実施** (4) 災害時避難所の運営計画見直し。
- (5) 高齢者向けに自宅でできるサービスや運動メニューの提供。
- 実施** (6) 買い物等代行サービスの検討。
- (7) 需要の減少に伴う農畜産物等を販売するシステムの構築。
- (8) 県外在住の学生へ支援物資の再支給。
- (9) 自立支援に関する相談窓口の人員体制の強化。

上記の各項目を実行するための予算措置を講じること。

国への支援策の提言等について

- (1) 医療・介護従事者への支援拡充や持続化給付金の再給付等。

議会報告・意見交換会を開催します

議会の活動状況や特に議論になった話題などについて報告するとともに、地域の課題についての意見交換を行います。ぜひ、ご参加ください。

【下記の日程で、各市立公民館を会場に午後7時から行います】

A班

5月18日(火) 天童中部
5月19日(水) 蔵 増
5月20日(木) 成 生

伊藤和子、鈴木照一
松田光也、熊澤光吏
佐藤孝一

B班

5月18日(火) 天童南部
5月19日(水) 寺 津
5月20日(木) 高 揃

石垣昭一、狩野佳和
遠藤敬知、渡辺博司
佐藤俊弥、古澤義弘

どなたでも
参加できます



C班

5月18日(火) 干 布
5月19日(水) 山 口
5月20日(木) 天童北部

水戸 保、村山俊雄
水戸芳美、武田正二
三宅和広

D班

5月18日(火) 津 山
5月19日(水) 長 岡
5月20日(木) 荒 谷

山口桂子、遠藤喜昭
笹原隆義、野口さつき
五十嵐浩之

※田麦野地区は、山口地区と合同で市立山口公民館にて行います。

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、事前の申し込みが必要です。

参加をご希望の方は議会事務局までお問い合わせください。(☎654-1111 内線353)



教えてケ□っす

Q 現在の議員定数・議員報酬は
どうなっているの？

A 議員定数は22人（H19.10～）、議員
報酬は39万3000円（H8.4～）になっ
ています。

昨年12月に設置された議
員定数・議員報酬検討特別
委員会では、これまで5回
にわたって議員定数・議員
報酬について議論を重ねて
います。また、4月末には
全議員を対象にアンケート
調査を実施し、全議員の意
見を集約する予定です。
今後、市民の皆さまのこ
意見を伺いながら進めたい
と思います。多くのご意見
をお寄せください。

議員定数・議員報酬
を検討しています

市民の声

若者の「政治離れ」や投票率の低迷など、日々政治参画への意識の低さに関する情報が流れています。天童市でも市議会だよりの中などで、市民への市政の情報提供がされ、解決に向けた啓発活動が行われています。にもかかわらず、これらが市民、特に若者の目にとまり、影響を与えることができていないのか、と感じました。

市民として

かどわき 門脇 あやか 彩花 (20歳・交り江)

んの思いに触れることで、市政は市民が無関係でいられるものではないと気付きました。

議員は市を想い、市民を想い、日々活動をしてくださっています。天童市は議会だけで創られているものではないと思います。天童市に住む市民である以上、市民は市政に対して無関心でいることはできません。無関係でいることはできません。天童市のために活動をしてくださる議員の皆さんにとって、市民の生の声が必要で、議会を傍聴すると、きっと私と同じ考えを持つことができるはずです。

本来私たちの暮らしは、政治と直結しています。議会が市民を見るだけではなく、市民も議会をもっと知るべきです。できることから、市政に参画してはいかがでしょうか。

6月定例会の日程 (予定)

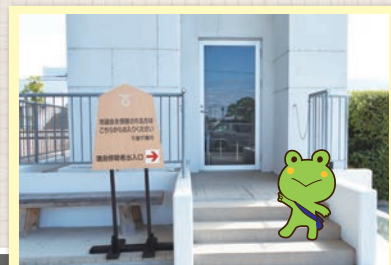
インターネットで生中継します。

日	月	火	水	木	金	土
5/16	17	18	19	20	21 請願 締め切り	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31 本会議 (初日)	6/1	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5
6	7 常任委員会	8 常任委員会	9 予算特別委員会	10	11 本会議 (最終日)	12

※請願の締め切りは、5月21日(金)正午の予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

天童市議会ギャラリー

傍聴をご希望の方は、市役所ピロティの傍聴者出入口からも入場できます。



編集後記

●今年の桜は、山形地方気象台が観測を開始した昭和28年以来、最も早い開花となったそうです。

●議会では議員定数・議員報酬検討特別委員会での具体的な検討が始まりました。

●広報委員会でも議会の活動状況を市民の皆さまに分かりやすくお伝えするために、紙面の見直しを検討します。

●議会と議員の活動がより見えるようになり、市民の皆さまから議会活動への関心を高めていただけるようになればと思います。

(三宅和広)

《広報委員会》

委員長 三宅 和広
副委員長 伊藤 和子
委員 佐藤 俊弥
委員 佐藤 隆義
委員 佐藤 義弘
委員 古澤 孝一